

私がこの奨学金を受ける候補者として、ふさわしい理由

私の名前はShaya Mansarayです。17歳で、高校3年生です。現在、私は複数の異なる学校で、3年間、そして4年目に入ろうとしているところですが、日本語を勉強してきました。幼い頃から、私は日本に魅了されていました。例えば、少しアニメを見ていたこともあります。それだけでなく、民話や妖怪、そして食べ物や都市にも興味を持っていました。私の母は、私が生まれる前に3年間日本に住んでおり、母が日本はどのようなところだったと話してくれたことを通して、もともと日本について知りました。私は、食べ物や物語など、日本の文化についていつも興味を持っていました。今回、日本へ行く機会を得ることは、私の視野を広げ、これまで身につけたことのないスキルを学び、言語についての理解を深めることに役立つと思います。視野を広げ、ほかの場所から来た人々と出会うことができるのは、とても素晴らしい機会だと思います。この旅行は、ほかの場所の人々について学ぶ助けになり、将来的には、異なる背景を持つ人々とつながり、より多くのコミュニティについて、より深く理解することにもつながると思います。

私が日本語を学ぶことを決めたのは9年生のときでした。もともと通っていた学校では日本語の授業がありませんでしたが、できるだけ早く学べるように、オンラインで授業を受ける方法を見つけました。私はできる限り自分の勉強に専念しようと努めてきましたし、いつも、できるところは改善したいと思っています。もし日本へ行くことができれば、日本語をより上達させ、実際に自分のスキルを使うことができるようになると思うので、話す力や他の人とのコミュニケーションに、もっと自信を持てるようになると思います。この機会はまた、新しい状況の中で問題を解決し、周囲をよく観察することを学ぶ助けにもなると思います。私はまだ言葉を十分に知らないの、周りにあるものを観察し、どの言葉が何を意味するのかを考えられるようになる必要があります。これは将来、自分で物事を理解しなければならぬときにも役立つと思います。

しかし、この機会は学業面で私を助けてくれるだけではなく、他の人々がどのようなことを、どのようにしているのかを見ることができるとい点でも、素晴らしい経験になると思います。これまでの何年もの間、私の家族は12人の留学生を受け入れてきました。その内訳は、6人の週末滞在の学生、3か月滞在した学生が1人、夏の間滞在した学生が1人、そして学年度の間滞在した学生が4人です。11人は日本からで、1人は中国からでした。この経験を通して、私自身も交換留学プログラムに参加してみたいと思うようになりました。私は、ほかの国の人々がどのようなことをしているのか、そして自分たちがしていることとどのように違うのかを聞くことが大好きです。それを自分自身で見る機会があれば、本当に楽しいだろうと思います！

全体として、私はこのプログラムに受け入れていただくべきだと思います。なぜなら、日本語を実際に使うことのできる環境で学ぶ機会を得られるだけでなく、これまで学んできたことに挑戦する機会にもなるからです。それだけでなく、別の国へ行き、そこではどのような生活があり、世界の反対側にいる人々がどのような生活をしているのかを自分自身で見て、旅行する機会を得ることは、楽しい経験になると思います。ご検討いただき、ありがとうございます。